

令和4年度 薩摩川内市民まちづくり公社事業報告書

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用はなかったものの、感染力の強いオミクロン株の広がりにより爆発的に感染者数が増えたところであり、当公社は、文化施設、社会体育施設、公園等の管理受託施設において感染防止対策をより一層徹底し、市民の皆様に安全・安心・快適なサービスの提供に努めました。

また、管理受託施設等における生涯学習等の諸事業については、緊急事態宣言の発令等がなかったことから、施設の利用制限及び生涯学習等の諸事業の縮小や中止等もなく総じて実施できたところであり、当公社の設立目的の一つである薩摩川内市と連携した芸術・文化・スポーツ等の振興による市民の皆様の生涯学習の推進と福祉の向上のため、市民の皆様のニーズに応え、事業を実施できました。

令和4年度に実施した事業の概要は、次のとおりです。

I 公益目的事業

1 受託施設管理事業

令和4年度の受託施設管理事業については、指定管理者制度等に基づき、薩摩川内市から管理を受託する文化施設、社会体育施設等の公共施設の管理運営を適切に実施しました。

特に、入来文化ホール、川内歴史資料館、川内まごころ文学館、せんだい宇宙館、サンアリーナせんだい等の集客施設においては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、安心して利用していただくとともに、施設の安全点検、消防・防災訓練を実施し、利用者の安全確保にも配慮しました。

また、公園等においても、安全で快適に利用していただけるよう、定期的な設備や遊具の点検、清掃、花壇の管理等を行い、必要に応じて施設等の修繕、樹木の剪定、芝刈り等を効率的に実施しました。

これら管理受託施設においては、利用者満足度アンケート調査等を実施し、利用者の意見等を踏まえながら、よりよい施設の管理運営に努めました。

なお、令和4年度においても依然として新型コロナウイルス感染症の感染が続き、年間を通じて施設利用にある程度の影響があった中、受託施設で実施した主な事業及び利用状況は、次に掲げるとおりであり、人件費を含み、管理運営のための直接経費として、489,366,090円を支出しました。

(1) 薩摩川内市入来文化ホール

令和4年度の利用件数は、前年比22.9%増の586件、利用者数は、前年比6.6%減の18,472人となりました。これは、新型コロナウイルス感染症による休館等の措置がなく、これまで自粛されていた地域の各種生涯学習の講座や

文化祭、ピアノ発表会等による会議室やホールの利用が増加したことから、利用件数は増えたものの、令和3年度に新型コロナウイルスのワクチン接種会場としての利用が大幅に増えた反動として、令和4年度の利用者数は減少したところです。

(2) 薩摩川内市川内歴史資料館

令和4年度は、緊急事態宣言の発令等による臨時休館の措置もなかったことから、歴史資料館では予定した事業をすべて実施することができ、入館者数は、前年比26.6%増の6,135人となりました。

企画展示では、感染症対策を講じたうえで、トピック展示「暦の歴史～旧暦から新暦へ～」、終戦記念展示「資料に見る郷土の戦争」、特別展示「鎌倉時代の薩摩川内」など、市民の多くの世代の興味、関心に応える展示を実施したほか、教育普及活動では、歴史講座や工作教室の開講のほか、学芸員による出前講座やいきいき生涯学習事業を実施しました。

特に、いきいき生涯学習事業において、せんだい文学館と合同でダンスパフォーマンス講座を実施したほか、歴史資料館の開館記念日にミュージアムコンサートを開催するなど、多くの方に資料館に興味を持ってもらう新たな取組にも挑戦しました。

また、薩摩国分寺跡史跡公園及び横岡古墳公園については、園内巡回や樹木剪定、除草等を適切に行い、施設等の美化に努めました。

(3) 薩摩川内市川内まごころ文学館

歴史資料館と同様、緊急事態宣言の発令等による臨時休館の措置もなかったことから、文学館では予定した事業をすべて実施することができました。

企画展示では、感染症対策を講じたうえで、前年度からの継続事業の特別企画展「作家からの手紙Ⅱ」のほか、旧川内文化ホールの緞帳に関連した特別企画展「山口長男の“ことば”と“かたち”」、里見弴の暮らしぶりを紹介する里見弴生誕記念展示「長寿万歳！作家里見弴の生活」、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連した武者小路実篤の戯曲「実朝の死」の直筆原稿を紹介するトピック展示などを開催しました。また、例年好評のまごころ文芸講座、名作シネマ上映会、まごころ児童絵画展などを実施しました。

このほか、展示に関連したワークショップ、まごころ児童絵画展やおはなし会の開催により、小・中・高校生の利用促進につなげるとともに、貸館事業による「Dr.コトー診療所」原画展など、施設の利用促進を図ったことから、令和4年度の入館者数は、前年比71.7%増の9,465人となりました。

(4) 薩摩川内市寺山いこいの広場

施設内の設備や遊具などの安全管理に努めるとともに、シルバー人材センターを活用しながら、花壇の管理や公園内の草払い等を実施し、利用者に親しまれる

花いっぱいの公園づくりに努めました。

また、寺山レストランやゴーカートとの連携を図り、集客に努め、令和4年度の寺山いこいの広場の利用者数は、前年比12.4%増の152,258人となりました。

(5) 薩摩川内市せんだい宇宙館

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症による臨時休館の措置がなく、薩摩川内市受託事業として、企画展「天王星・海王星展」、寺山こどもの日フェスタや寺山秋まつり、宇宙館フェスタなどのイベントを開催するとともに、天候不良による中止を除き、キラキラ寺山事業の各種観望会、工作教室等を計画どおり実施できたことから、入館者数は前年比60.2%増の12,855人となりました。

(6) 各種公園、緑地等の管理

各種公園、緑地等については、定期的に設備、遊具、樹木、芝、雑草の状態等を点検し、適切に受託施設の維持管理及び補修を実施しました。特に、イヌマキにキオビエダシャクが大量発生したことから、薬剤散布を行い、駆除しました。

また、施設内の大木等については、専門業者に委託して剪定を行ったほか、継続的に雑草等の管理が必要な施設については、シルバー人材センターに業務委託して管理を行いました。

(7) 体育施設の管理

体育施設のうち、武道場やトレーニング室等を含むサンアリーナせんだいの利用者数は、施設の利用制限の緩和等に伴い、例年実施の各種大会が開催されたことから、前年比52.6%増の178,619人となりました。

また、総合運動公園全体においても、前年比52.3%増の312,565人となり、新型コロナウイルス感染症の拡大前の利用者数に回復しつつあります。

そのほか、御陵下公園の施設及び屋外運動場照明施設においても、新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、利用者数は前年から8.6%増の47,338人となりました。

(8) 薩摩川内市立中央図書館の運営

薩摩川内市立中央図書館の夜間を含む平日及び休日の運営、貸出・返本受付のほか、移動図書館バスの運行、おはなし会や映画会、教養講座などを実施し、利用者増に努めました。

なお、令和4年6月1日から「薩摩川内市電子図書館」が運用開始され、利用者カードを持っている方がスマートフォンやパソコンで電子書籍を借りられるようになったことから、電子図書館の利用促進に取り組みました。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による休館措置

もなく、開館日数が前年度より69日多くなったこと等から、図書館利用者数は、前年比28.4%増の68,671人となりました。

2 芸術・文化・スポーツ振興事業

芸術文化振興事業は、市民への舞台芸能や文化講演等の鑑賞の機会を提供し、市民文化の高揚を図ることを目的に実施しておりますが、令和4年度は、「愛華みれトークサロン『愛の華咲かせましょう♪』」及び「創作オペラ『袈裟姫伝説』」を、それぞれ国際交流センターコンベンションホール、SSプラザせんだい多目的ホールで開催しました。

トークサロンでは、講師の宝塚歌劇団での経験や退団後の闘病生活などのトークと歌劇団の定番曲の鑑賞を、創作オペラでは、伝説を題材にした脚本を基に、プロの音楽家と市内の合唱団員の熱演による手作りのオペラを観客の皆さんに楽しんでいただきました。

この芸術文化振興事業については、市からの補助金（交付額4,000,000円）を受けて実施しましたが、2つの興行の事業経費5,643,296円に対し、入場料収益が1,656,500円であったことから、市からの補助額は3,986,796円となり、13,204円を精算返納しました。

3 いきいき生涯学習事業

いきいき生涯学習事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1事業を延期したものの、計画したすべての事業を実施しました。

創作体験の講座として、国際交流センター等において「季節の切り絵～夏～」、「フラワーアレンジメント教室」、「アロマストーンサシェ創作教室」、「多肉植物寄せ植え教室&相談会」などを、管理受託施設の一つである入来文化ホールにおいては「童謡・唱歌を歌う」及び「キラキラカード作り」を開催しました。

また、初めての試みとして歴史資料館と文学館の共催で「CIダンス体験」を実施したほか、サンアリーナせんだいにおいて、スポーツ振興を目的とした「まちづくり公社杯ソフトバレーボール大会」を開催し、14団体、78人の参加がありました。

以上、いきいき生涯学習関連の自主事業経費は、606,754円となりました。

4 花と緑のまちづくり事業

平成28年度まで実施していた「花苗の無料配布」を6年ぶりに再開しました。令和4年度においては、花苗の配布を希望する地区コミュニティ協議会への配布となりましたが、地域や公共施設等における環境美化の向上等に貢献することができました。

そのほか、泰平寺公園の花壇やプランターへの花苗の植栽、管理を実施していただいたボランティア団体の活動を支援し、環境美化に努めました。

5 キラキラ寺山事業

これまで同様、寺山の各施設が連携し、寺山いこいの広場全体の利用拡大に努め、特に、せんだい宇宙館では、宇宙・天体に興味を持ってもらうため、月や各惑星の観望会のほか、ふたご座流星群観望会、風船ヘリコプターや光る剣などを作るウィークエンド工作等を、キラキラ寺山事業として実施しました。

また、市教育委員会及び少年自然の家事業とも連携協力し、市内の小学校に出向いて天文教室・出張観望会を実施しました。

6 サービス事業

受託施設への公衆電話の設置や各管理施設でのコピーサービスなど施設利用者の利便を図りました。

7 広報宣伝事業

公社の自主事業や管理施設の行事予定、事業結果等について、公社広報誌「アクスタイム」、南日本新聞折り込みチラシ「南日本家庭メモ」の裏面活用による「アクスタイム情報」、公社ホームページ、SNS等による広報宣伝を実施しました。

また、薩摩川内市の広報紙「広報薩摩川内」、新聞、FMさつませんだい、各種情報誌を活用し、情報発信に努めました。

8 まちづくり交流事業

本事業は、川内文化ホールの閉館に伴い、休止しておりましたが、令和4年度において廃止の手続きを行いました。

II 収益事業

販売事業

施設利用者等の利便を図るため、サンアリーナせんだい売店の経営のほか、せんだい宇宙館でのグッズ販売、管理施設への清涼飲料水等の自動販売機の設置、運営を行い、その収益については公益目的事業を実施するための財源として活用しました。

収益事業全体では、10,956,199 円の収益に対して経費が 8,837,154 円であり、2,119,045 円の黒字となりました。

III 事務局

事務局の管理運営

当公社の設立目的に沿って公益目的事業等の事業活動を円滑に実施するため、的確な事務執行を行いました。

終わりに

当社は、これまで生涯学習、芸術文化、スポーツ振興等に係る公益目的事業を実施し、薩摩川内市と連携しながら、市民の皆様に生涯学習や芸術文化等に触れる機会を提供するとともに、受託管理する施設の利活用の促進に取り組んで参りました。

今後におきましても、職員一人ひとりが市民の皆様のニーズを積極的に把握しつつ、「安全・安心・快適」なサービスを提供し、市民の皆様に喜ばれる事業を実施するなど、更なる市民福祉の向上に寄与できるよう努めて参ります。